

2021年5月12日

江蘇省南通市の化学企業に対する環境規制について

I. 2019年4月付江蘇省通達について

江蘇省政府は「江蘇省の化学工業産業に対する安全・環境保護の整備・改善方案」を正式に発表しました。方案には“法規制に基づく整備・改善の促進”、“揚子江沿岸地域の化学工業企業の削減”、“環境に影響を受けやすい地域における化学工業企業の削減”等の厳しい措置が盛り込まれていました。

本通達に従い、過去数年間、江蘇省の多くの化学工業団地や化工企業は、改善、移転、閉鎖などの検討をせざるを得ない状況に直面しています。特に下記に相当する企業は閉鎖の可能性が高く、深刻な状況となっています。

1. 審査に合格できない企業はすぐに停止・改善を行わねばならず、その後も合格できない場合は閉鎖となる。
2. 揚子江本流と支流の両側1キロ以内、環境に影響を受けやすい地域、人口密度が高い地域にある危険物を取り扱う化学工業企業は閉鎖または移転となる。
3. 化学工業団地以外にある企業は、事業の必要性が高く、安全環境保護基準に合格した企業のみ化学工業団地に移転可能だが、それ以外の企業は全て閉鎖となる。
4. 指定された規模未満の化学工業企業および安全・環境保護に対するリスクの面で合格できない企業は全て閉鎖となる。
5. 規模が小さい、事業の必要性が低い、インフラが不完備、安全性と環境に対する問題が大きい化学工業団地は、化学工業団地としての認定を外される。

江蘇省南通市の揚子江地域には、南通経済技術開発区、如皋港化工新材料産業園、如东洋口化学工業園、启东経済开发区精細化工園、海門灵甸工业集中区精細化工園、海安技術開發区精細化工園の6つの化学工業団地があります。これらの化学工業団地は、新規合成材料、近代化学合成農薬、新規医薬品、天然ガス化工製品、ファインケミカル等の特徴ある製品を製造しています。

一方、南通市の化学工業団地全体では、全部で267社の化工企業と8万人以上の従業員が働いていますが、化学工業団地内には8つの危険化学品を扱う専門地域があるため、環境保護の面では依然として厳しい状況にあります。

II. 直近に得られた情報およびその確認結果について

前述の方案により、南通市では特定の化学工業団地や、上記の5つの基準に該当する企業はいずれも閉鎖、移転の問題に直面しています。その中でも特に、南通経済技術開発区は揚子江の河口の北岸にあり、今回の改善対象の一つとして、南通市地方政府は、既に一部の企業に対して閉鎖と移転の指示を出しました。

弊社が南通市経済技術開発区の当局に確認したところ、確かに一部の企業は閉鎖または移転させるよう指示したことが確認できました。ただし、企業ごとに状況が異なるため、具体的な企業名は開示できないとの回答でした。

また南通市にある日本企業にも問い合わせをしたところ、一部の企業は、実際に現地政府から移転を要求されており、具体的な移転時期と計画を社内検討しているとの情報が得られました。

中国の環境政策は中国企業だけではなく、中国における外資企業にも平等に厳しい姿勢を取っています。中国系、外資に関わらず、中国の環境管理方案の要求を満足できない企業は、今後、改善、移転または閉鎖を余儀なくされることとされます。

新しい情報が入りましたら、随時配信させていただきます。

以上